

米軍基地環境カルテ

恩納サイト（施設番号：FAC6215）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

13. 恩納サイト（施設番号：FAC6215）	13-1
13.1 基本情報	13-1
13.1.1 名称	13-1
13.1.2 所在地、広さ（施設面積）	13-1
13.1.3 施設の概要等	13-1
13.1.4 施設の管理及び用途	13-1
13.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	13-1
13.1.6 土地利用規制図	13-2
13.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	13-2
13.2.1 基地等の土地の状況	13-2
13.2.1.1 地形分類図	13-2
13.2.1.2 表層地質図	13-2
13.2.1.3 土壌図	13-2
13.2.1.4 切盛土分布図	13-2
13.2.2 基地内の施設の使用状況	13-2
13.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	13-2
13.2.2.2 施設等使用履歴	13-2
13.3 基地等の環境状況	13-3
13.3.1 自然環境（植物）	13-3
13.3.1.1 現存植生図	13-3
13.3.1.2 植生自然度図	13-3
13.3.1.3 特定植物群落	13-3
13.3.1.4 重要な種、貴重な種等	13-3
13.3.2 自然環境（動物）	13-3
13.3.2.1 重要な種、貴重な種等	13-3
13.3.3 水利用状況	13-4
13.3.3.1 水利用状況	13-4
13.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	13-5
13.3.3.3 河川及びダムの分布状況	13-6
13.3.4 地下水の状況	13-6
13.3.4.1 地下水基盤面等高線図	13-6
13.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	13-6
13.4.1 事故等の概要	13-6
13.4.2 事故等発生場所	13-7
13.5 環境調査を実施する場合の留意事項	13-7
13.6 その他情報	13-7

13.7 環境等に関する通常監視について	13-7
----------------------------	------

13. 恩納サイト（施設番号：FAC6215）

13.1 基本情報

13.1.1 名称

恩納サイト（施設番号：FAC6215）

13.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：恩納村字富着、字谷茶、字恩納、金武村字屋嘉

広 さ：約 267,100 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

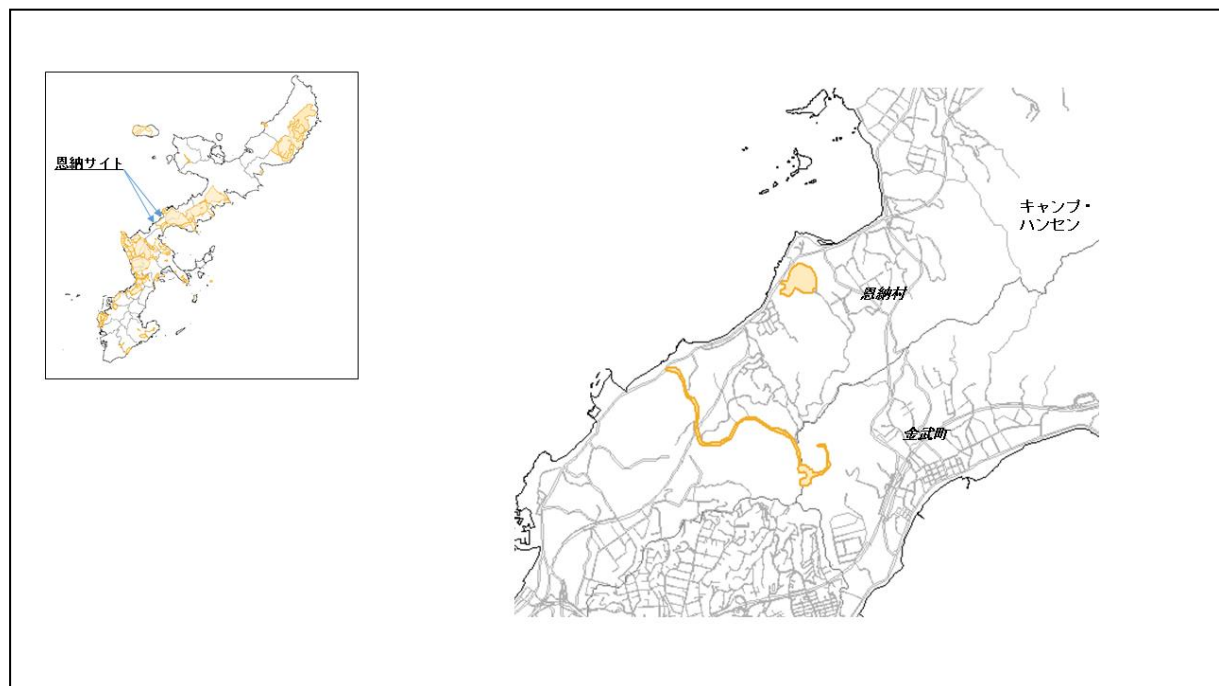


図 13-1 恩納サイトの位置図（昭和 47 年時）

13.1.3 施設の概要等

昭和 50 年 6 月 30 日、全部返還。

13.1.4 施設の管理及び用途

昭和 50 年 6 月 30 日、全部返還。

13.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は、航空自衛隊那覇基地恩納高射教育訓練場へ引き継がれている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

13.1.6 土地利用規制図

恩納サイト跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図B」に示す。

13.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

13.2.1 基地等の土地の状況

13.2.1.1 地形分類図

恩納サイト跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図B」に示す。

13.2.1.2 表層地質図

恩納サイト跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図B」に示す。

13.2.1.3 土壌図

恩納サイト跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図B」に示す。

13.2.1.4 切盛土分布図

恩納サイト跡地の切盛土分布図は作成されていない。

13.2.2 基地内の施設の使用状況

13.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

恩納サイトの施設配置図は確認できなかった。

13.2.2.2 施設等使用履歴

昭和 28 年 4 月 使用開始。

年月日不明 米陸軍第 30 防空砲兵旅団が「恩納ポイント陸軍補助施設」として使用。

昭和 47 年 5 月 15 日 「恩納サイト」として提供開始（使用主目的：ミサイル・サイト）。

昭和 48 年 1 月 31 日 2,000 m²を返還。

昭和 48 年 5 月 14 日 265,000 m²を返還。

昭和 50 年 6 月 30 日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

< 主要建物及び工作物 >

建 物：2 棟（109 m²）

工作物：2 件

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

13.3 基地等の環境状況

13.3.1 自然環境（植物）

13.3.1.1 現存植生図

恩納サイト跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図B」に示す。

13.3.1.2 植生自然度図

恩納サイト跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図B」に示す。

13.3.1.3 特定植物群落

恩納サイト跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

13.3.1.4 重要な種、貴重な種等

恩納サイト跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

13.3.2 自然環境（動物）

13.3.2.1 重要な種、貴重な種等

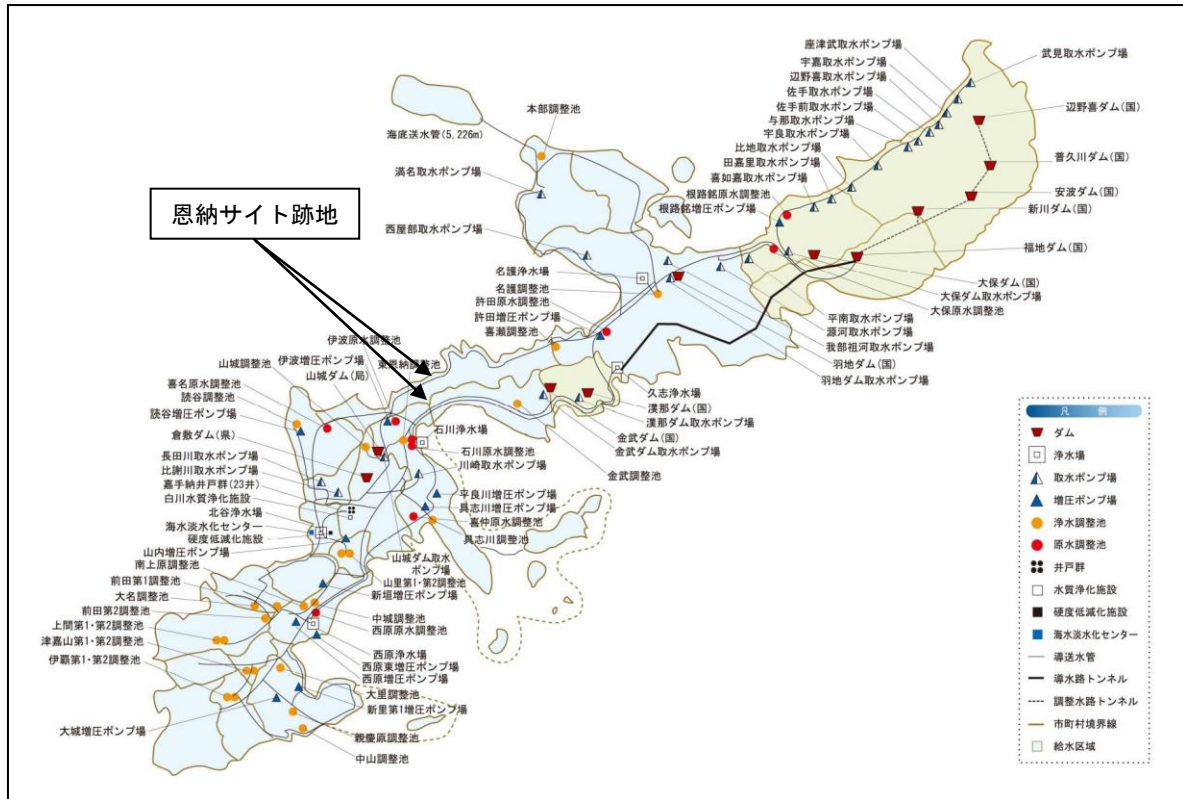
恩納サイト跡地のある恩納村及び金武町で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は44種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

13.3.3 水利用状況

13.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 13-2 に示す。

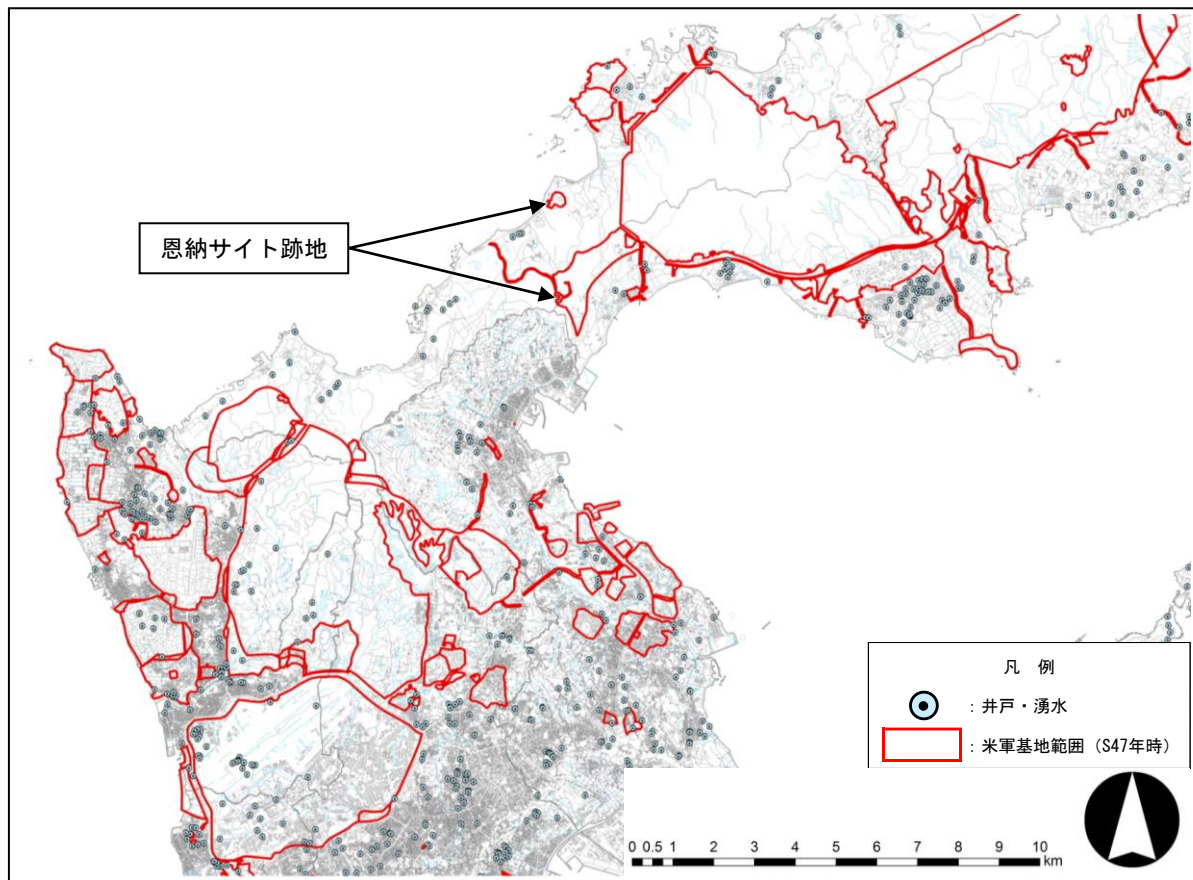


出典：「2015＜平成 26 年度決算版＞ 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 13-2 沖縄島及び周辺の水利用状況

13.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

恩納サイト跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 13-3 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、 第 269 号）」

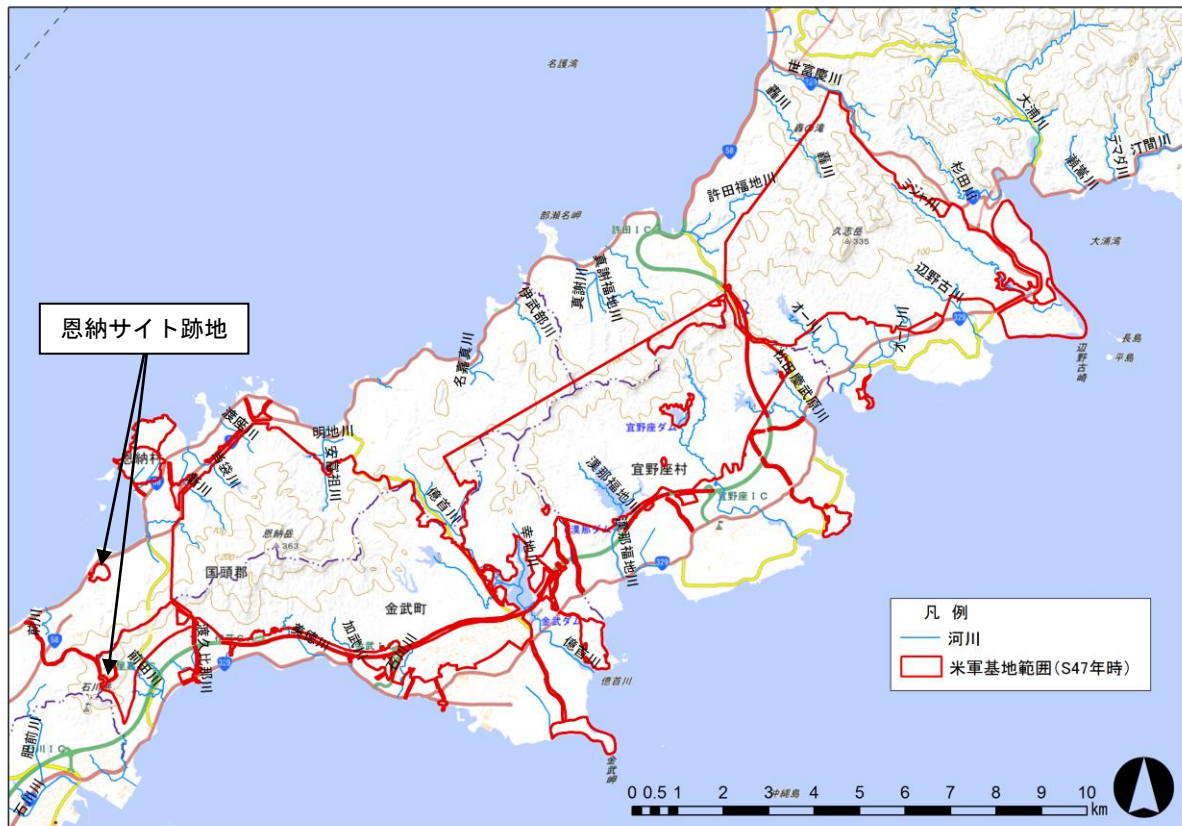
注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 13-3 恩納サイト跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

13.3.3.3 河川及びダム分布状況

恩納サイト跡地及び周辺の河川、ダム分布状況を図 13-4 に示す。恩納サイト跡地及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
 「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 13-4 恩納サイト跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

13.3.4 地下水の状況

13.3.4.1 地下水基盤面等高線図

恩納サイト跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

13.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

13.4.1 事故等の概要

恩納サイト及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

13.4.2 事故等発生場所

恩納サイト及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

13.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

13.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、恩納サイト及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 13-1 に示す。

恩納サイト及び周辺については、以下の資料が確認された。

表 13-1 恩納サイト及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA 収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1957 年 7 月 8 日	ナイキ・サイト	文書	Nike Project は、8 箇所であることが記されている。 Site1-ボロー・ポイント、Site2-恩名ポイント、Site3-天願または屋嘉ビーチ（最終決定は不明）、Site4-読谷城、Site5-普天間、Site6-知念（第一サイトか第二サイトかは不明）、Site7-与座岳、Site8-那覇飛行場。

13.7 環境等に関する通常監視について

恩納サイト及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、

「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、

「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

